

夜間中学シンポジウムのアンケート 参加者の方の感想等（抜粋）

- シンポジウムに参加させていただき、大変参考になりました。「誰一人取り残すことのない」教育が実現できる学校となりますよう、期待しております。
- 静岡県、徳島県と同様に多様な生徒・ニーズに対応した夜間中学を開校してほしい
- 学びは様々な可能性への扉を開くものだと思います。夜間中学はまさにそうした可能性を広げる手立ての1つだと思います。具体的にどのように運営されるか、また折にふれて情報を発信していただけたらと思います。
- 福井県では学齢期の子どもの受け入れを可とするのでしょうか。（中学校に籍を置いて居場所・学びの場所として活用することができるのか）
→夜間中学の対象生徒は学齢期を過ぎた方です。（学齢期の中学生で、現在の中学校に籍を置いて夜間中学を学びの場とすることについては、今後検討させていただきます。）
- 県立中学校という形を選択したことで、すべての市町から入学希望者が入学できるようになることはとても良かったと思います。
- 毎年のように外国の中学を卒業してから来日したり、国内のブラジル学校中学部を卒業していたりして、日本語がほとんどできない生徒が福井に転居してきていますが、これまでは主に定時制高校で受け入れざるを得ませんでした。今後は、夜間中学校で日本語をある程度習得した上で高校に進学する流れができると、高校での学びや他の生徒との交流もより深まることが期待できると思います。
- ぜひ、夜間中学という場で教師をしたいという熱い思いを持った先生方に集まってもらえるような方策をご検討いただければと思います。